



三越伊勢丹システム・ソリューションズ



プレスリリース

2022年 3月 1日

報道関係者各位

株式会社三越伊勢丹システム・ソリューションズ
オープンリソース株式会社
株式会社 4U Applications

顧客視点でのネットとリアルの融合(DXソリューション)及び 導入・維持コストの削減を目指すプラットフォームサービスの提供

～ 三越伊勢丹システム・ソリューションズ、オープンリソース、4U Applications、
流通小売業向け DX ソリューション分野における協業で合意 ～

株式会社三越伊勢丹ホールディングスの子会社である株式会社三越伊勢丹システム・ソリューションズ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:箕輪康浩、以下三越伊勢丹システム・ソリューションズ)、gooddays ホールディングス株式会社の子会社であるオープンリソース株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小倉博、以下 ORC)、株式会社ヴィンクスの子会社である株式会社 4U Applications(本社:東京都墨田区、代表取締役社長:速水誠、以下 4U Applications)の3社は、流通・小売を中心とした企業に向けて、リアルとネットの融合を目指し、「ユーザー主導開発(内製化推進)を可能とするソリューション」を提供する協業を推進することに合意しましたので、お知らせいたします。

新型コロナウイルスの影響により消費者行動、マーケットのトレンドなどが大きく変化中、流通・小売業界では、オンライン(ネット)とオフライン(リアル店舗)をシームレスに融合し、時代の変化に応える新たな顧客体験創出への取り組みが求められています。顧客、店舗、EC、商品、スタッフ、サービスなど、文字どおりオンラインとオフラインの構成要素を組み合わせ、顧客サービスをネクストステージに押し上げる変革が必要です。

しかしながら、現実には既存のレガシーシステムがサイロ化、複雑化、または、ブラックボックス化しているため、迅速なシステム開発が行えず、開発期間の長期化や運用コストの増大を招いていることで、ICTを活用した事業・業務変革を進めることができない企業も少なくありません。私ども3社は、こうした状況が日本の流通・小売業界におけるデジタルトランスフォーメーション(以下「DX」)の推進の阻害要因になっていることに大きな危機感を持ち、力を合わせてDX 実現ソリューションを提供する取り組みを推進することといたしました。

この取り組みにおけるポイントは、次の3点です。

- ① サイロ化・複雑化・ブラックボックス化した既存システムに大きく手を加えることなく新しいサービスを開発すること
- ② ベンダー依存を回避し、ユーザー主導の内製化によるシステム開発を可能にすること
- ③ 流通・小売における要石である POS をオープンで拡張性の高いものにする

これらを、三越伊勢丹システム・ソリューションズの DX システム基盤である MI-BPF(エムアイビジネスプラットフォーム)、ORC のクラウドサービス Redx(リデックス)、4U Applications のオープンで拡張性の高い POS4U フレームワーク(ポスフォーユーブ

フレームワーク)を組み合わせる新たなソリューションとして提供してまいります。

本件流通小売業向け DX ソリューション分野における協業は、2022 年度をスタート年度と位置づけ、流通・小売業界のキープレイヤーを中心に 10 社程度のお客様への導入・サービス提供をめざします。

以上

■各社のソリューションの説明■

<MI-BPF>

MI-BPF は、日本を代表する百貨店の新たな顧客チャネルづくり、サービス提供を素早く、タイムリーに実現するために開発された、まさに DX を推進する ICT 基盤です。レガシーシステムなどの既存システムとは、必要最小限の連携のみで大きく影響を与えることなく、顧客がアクセスするフロントシステムに対して API 呼び出しによるアプリケーション機能を提供、また、必要なデータを連携するためのマイクロサービス化された iPaaS 的なクラウドサービスです。三越伊勢丹グループがお客様にデジタル領域で提供している「おもてなし DX」と呼ぶべき各種の新サービスは、この MI-BPF をベースに開発してきており、DevOps 基盤上でアジャイル開発により、これからも新たな機能追加、コンテンツ取り込みにより進化を続けていきます。

<Redx>

「Redx」の第一弾であるクラウド POS は、汎用的クラウド技術をベースとし、プラグイン型モジュールをクラウド化することでシステム連携の疎結合を実現しました。クラウド化するにあたっては、大手専門店、量販店、スーパーマーケット等に納品した POS システム約 40,000 台の実績があるフレームワークをベースに開発しています。今後、EC、顧客、店舗スタッフをつなぐクラウド店舗 DX の提供を予定しており、ロックイン状態にある課題の解決と DX を推進する環境を提供することを目的とし、クラウドサービス「Redx」を展開しております。

【特徴】

- ・クラウド型サービス(標準 model)として提供し、導入コストの半減と導入期間を短縮
- ・ロックイン状態を解消し、システム開発の内製化を推進することで維持コストの半減
- ・標準プラグインモジュール(有人 POS、セルフ POS、モバイル POS 他)から選択可能
- ・個別の導入企業向けに、カスタマイズプラグインモジュールとして提供可能
- ・業態に応じた複数の標準モジュールを提供予定

Redx 公式ホームページ <https://redx.jp/index.html>

<POS4U フレームワーク>

小売全業種をカバーする POS アプリケーションのフレームワークです。2022 年 2 月現在、スーパー、百貨店、家具・生活雑貨、ホームセンター・ディスカウントストア、外食、コンビニ(海外)の全業種で稼働中。フレームワーク上で動作する部品(アプリケーションプラグイン)を取り換えることにより、様々な業種、個別カスタマイズに対応しています。POS アプリケーションは、追加カスタマイズを重ねることが多いソフトウェアです。従来の POS アプリケーションはカスタマイズを重ねるごとに肥大化し、いわゆるスパゲティー状態になりやすいものでした。POS4U では機能を追加するだけでなく、取り除く、部品を交換する機構を実装し、肥大化を防ぎました。ソフトのバグは、作成者の予期しないルートを通った時に発現するものが多い傾向にあります。POS4U は個々の小売にとって必要な機能のみを入れることにより、この「予期しないルート」を減らし、シンプルで障害の少ないアプリケーションを実現しています。

【ユーザー主導開発を可能とするソリューション】

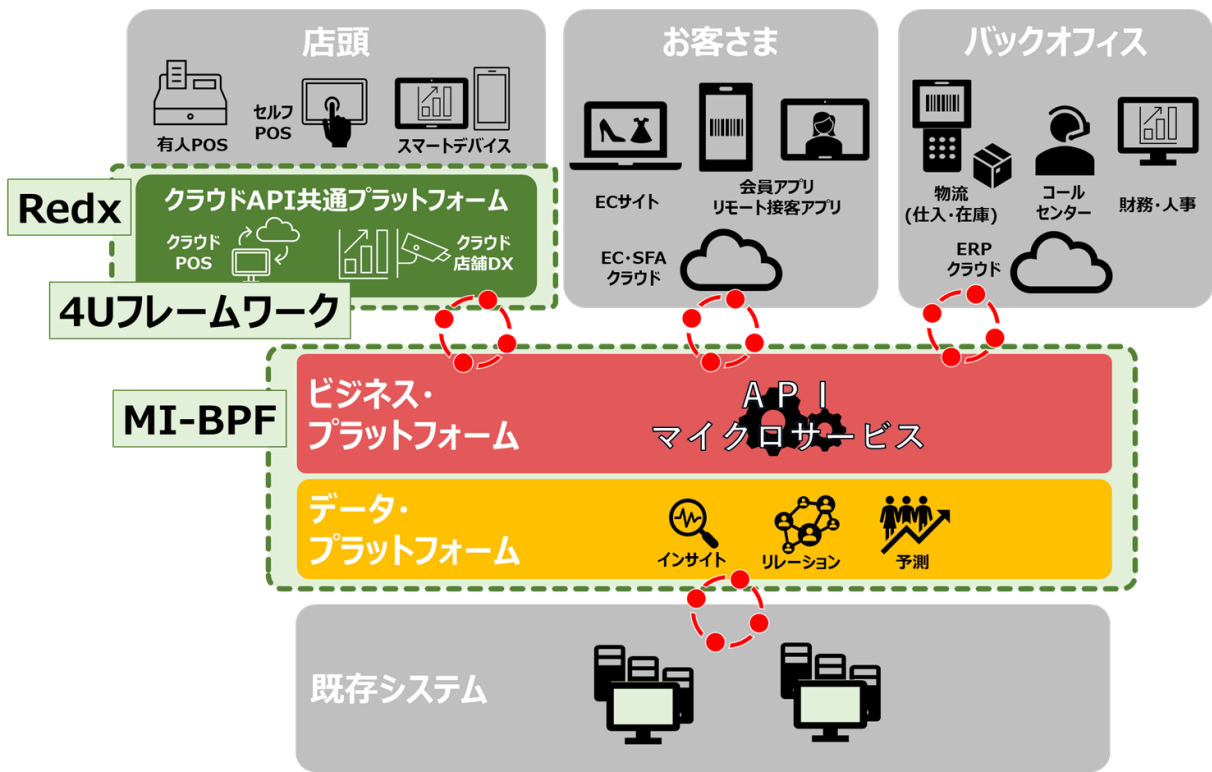


図1:ユーザー主導開発を可能とするソリューションの連携イメージ(一例)

【3社の強みとソリューション提供フロー】

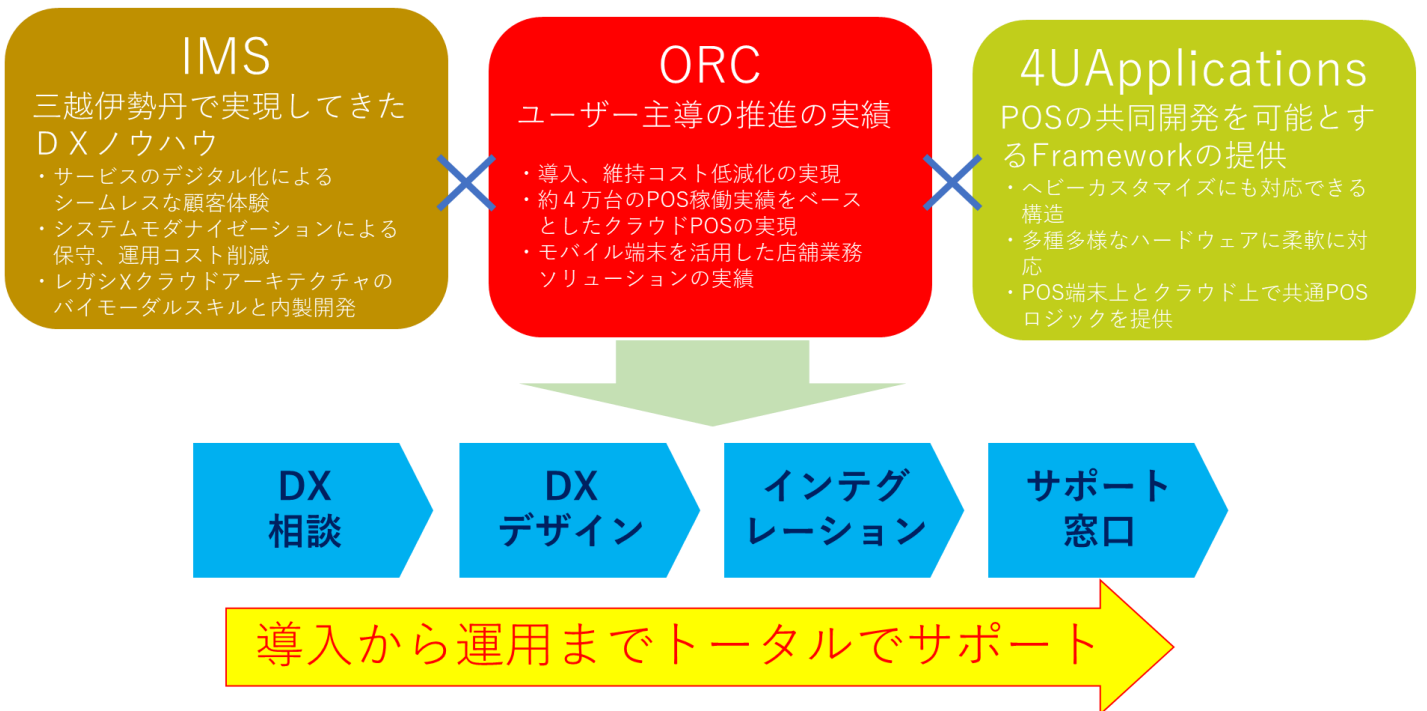


図2:3社の強みとソリューション提供フロー

■各社について■

<三越伊勢丹システム・ソリューションズ>

三越伊勢丹システム・ソリューションズは「IT で世の中に価値を提供できる会社」＝「イノベーションを実現する会社」を目指す姿とし、三越伊勢丹グループへの IT 基盤、システム開発・保守・運用全般のサービス提供はもちろん、他企業様向けに SCM データ連携等のサービス事業も展開しています。三越伊勢丹グループに向けた、効率的な店頭・スタッフ業務遂行を実現する安定・安全なモード1システムの最適化から、お客さまへの新たな価値提供に向けたデジタル施策を実現するモード2基盤開発、さらに、スクラムチームで新たなサービスのアジャイル開発にも取り組んでいます。従来からのモード1技術と新たなモード2技術を掛け合わせて、三越伊勢丹グループのDXに取り組むとともに、その価値ある成功体験をもとに、新時代の百貨店プラットフォームの一翼を担う企業として、ITビジネスを展開しています。

ホームページ <http://www.ims-sol.co.jp/index.html>

<ORC>

オープンリソース株式会社は流通・小売・金融・不動産業界を中心に、お客様の事業課題の解決のため、ITを使うことでお客様の「期待を超えるソリューション」を提供することを心がけています。これまで20社以上の大手量販店、百貨店、専門店に対するPOS、店舗業務システムの導入、維持を担当してまいりました。DX時代の到来と共に直面している大きな問題に新しいテクノロジーを活用し、人々の暮らしの質の向上に貢献する事業を展開しています。

ホームページ <http://www.orc-net.com/>

<4U Applications>

株式会社4U Applicationsは「POSの未来を、とことん考える！！」ことをミッションに掲げ、近年変化が著しい小売の決済シーンに対応するために、従来型のPOS専用機からレジカートやスマホ買い物アプリにも対応できるPOSロジックを開発しています。主力製品のPOS4Uは、パッケージソフトではなく、POSアプリケーション開発キットです。ソフトも地産地消、つまり使用される現場に近いところで作成、保守、エンハンスを行った方が、鮮度がよく栄養価が高いものになると考え、この開発キットを小売システム部に提供して共同開発を行っております。

ホームページ <https://www.4uapplications.com/>

■お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは、下記へお願いします。

3社協業プロジェクト事務局

E-Mail: ims_orc_4u@orc-net.com

*本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。